

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆景気動向指数、10月は2カ月連続上昇 判断「下げ止まり」維持

・内閣府が発表した10月の景気動向指数(速報値)は足元の経済状況を示す一致指数(2020年=100)が115.4と前月比で0.5ポイント上昇。2カ月連続の上昇となった。米国による関税措置で影響を受けていた自動車の輸出が回復。基調判断は「下げ止まりを示している」で据え置いた。据え置きは18カ月連続。

◆10月の実質消費支出3.0%減 6カ月ぶりマイナス、車購入費押し下げ

・総務省が発表した10月の家計調査によると、2人以上世帯の消費支出は30万6872円。物価変動の影響を除いた実質で前年同月比3.0%減少した。6カ月ぶりのマイナスで、2024年1月以来の減少幅となった。QUICKが事前にまとめた予測中心値は1.0%増だった。10月は飲食料品の値上げが相次ぎ、消費者心理に影を落とした可能性がある。

◆株高で消費増「1.5兆円」、松屋は宝飾品2倍 フェラーリ販売過去最高

・日経平均株価が5万円の大台を突破し、株高による資産効果を受けて高額消費が盛り上がりを見せている。松屋では11月の宝飾売上高が前年同月比約2.5倍に増加したほか、イタリアの高級車メーカー、フェラーリの11月の新車販売台数は過去最高を更新した。株高で1兆5000億円の消費増が見込まれるとの試算もあり、個人消費をけん引する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆首都直下地震の経済損失83兆円に縮小 被害想定、停電は1600万軒に増加

・政府が近く公表する新たな首都直下地震の被害想定概要がわかった。マグニチュード(M)7級の地震が起きた場合、経済被害は83兆円を見込む。2013年にまとめた前回想定の95兆円から12兆円縮小した。建物の建て替えや耐震化が進んだことを反映させた。インフラ機能維持は厳しく見積もり、停電の規模は1.3倍とした。

◆小企業の人手不足感が続伸 賃上げするも採用難 金融公庫調べ

・日本政策金融公庫 総合研究所が公表した2025年7～9月期の「小企業の雇用に関する調査」結果によると、現在の従業員数が「不足」していると答えた企業割合は38.4%となり、前回調査(前年同期)から1.3ポイント上昇。建設業では58.4%が「不足」と回答し、運輸業(61.8%)、情報通信業(58.7%)に次ぐ水準となった。

◆建設資材物価指数、12カ月連続上昇 銅などが押し上げ要因に

・建設物価調査会が公表した2025年11月分の「建設資材物価指数」の動向は、建設総合の全国平均が143.9となり、前月比で0.2%(0.3ポイント)の上昇。12カ月連続での上伸となった。前年同月比では3.3%(4.6ポイント)の上昇となっている。(※速報値、2015年の平均を100として算出)建築部門は143.0で、前月比0.1%、前年同月比で3.1%上昇。

《 注目商品 》

■パロマ、レンジフード連動機能搭載 テーブルコンログランドシェフ プレミアム

・コンロの点火・消火に連動してレンジフードが自動でオン・オフする「レンジフード連動機能」を、テーブルコンロとして業界で初めて搭載。調理中のレンジフード操作の手間が減り、消し忘れによる電気の無駄使いを削減。天板には ハイパーガラスコートトップを採用。



■永大産業、床暖房対応のPB基材フローリング

・床暖房対応シートフローリング「Eグリーンフロア」を発売。低比重で床暖房対応可能なフローリング用パーティクルボード基材を開発。床暖房仕上がり材として使え、ホットカーペットにも対応。へこみ傷・すり傷・摩耗に強く、汚れが落ちやすい。



■LIXIL、取替窓「リプラス」に寒冷地向け引き違い窓

・既存のアルミ窓をカバー工法で樹脂窓へと容易に交換できるリフォーム窓「リプラス」から、寒冷地に適した「居室仕様 EWタイプ」を追加して発売。引き違い窓のみ(複層ガラス、トリプルガラス)の設定で、間口の縮小や連段窓には非対応。

